

# 12 生きもののつながりってなんだろう？

～「生物多様性」を考えてみよう～

講義担当：環境創造局政策課

年間実施数	3回（日程があれば3回をこえても開催可能です）
講座対象者	■小学校児童 ■中学校生徒 ■放課後児童育成施設利用児童 ■高校生徒 ■大学生 ■地域一般
対応曜日、時間	月～日曜日 9時～21時
授業活用例	小1～6年理科、『横浜の時間』
講座実施方法 ( )は場所等	■講義（屋内：パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等） ■ワークショップ（イラストを描いたコップを積み上げて生態系を考える）
講座所要時間	45分（約15分のプログラムを3本用意しています。）
準備する道具、条件	パソコン、プロジェクター、ポインターの準備をお願いします。

## 内 容

### 1 本講座の目的・ねらい

私たちの生活は、植物・動物・微生物などたくさんの生きもののつながりの恵みにより成り立っています。生きものたちがすむ自然に感謝し、保全する必要を考え、行動のきっかけをつくりま

### 2 内容（実施時間に応じて内容を調整します。）

クイズ等で、講師と受講者の皆さんがコミュニケーションを取り授業を進めます。

（1）～（3）から選んで講義できます。時間は目安です。

#### （1）生きもののつながりの大切さについて（20分）…パワーポイントでクイズを出しながら説明

生きものたちがつながり合う豊かな自然から得られるたくさんの恵みにより私たちの生活が成り立っていることや私たちの生活が自然に与えている影響（危機）を受講者の皆さんと一緒に考えま

#### （2）生きもののつながりを考えるワークショップ（25分）

※人数が多いと時間がかかります。

「生きものたちは、どのようにながっているのでしょうか？」

自然や動物のイラストを描いたコップを使って、屋内でも、生きもののつながりを体感できます。

※小学校4年生以上の外来生物の勉強にも活用できます。



【コップを使ったワークショップ】

#### （3）その他：横浜市生物多様性横浜行動計画(ヨコハマbプラン)など行政の取組の説明も可能です。

講義の内容に関するお問い合わせ先：045-671-2484（環境創造局政策課）